

され おおだより

発 行 小倉北区社会福祉協議会 小倉北区大手町1番1号 区役所3F TEL (093) 571-5452 FAX (093) 571-955:

小倉北区社会福祉協議会 令和6年度 事業計画



基本理念

みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり

基本目標 I

福祉の風土を広げ、 困りごとに気づく力を高めよう

~見守りのしくみの充実~

困りごとに気づき、受け止める見守り活動や場づくり(サロン活動など)の推進を図るとともに、福祉教育や広報啓発の充実に取り組みます。



見守り訪問活動

グループワークの発表小地域福祉活動計画策定の様子



基本目標 Ⅱ

一人ひとりの困りごとを助け合おう

~助け合いのしくみの充実~

地域の困りごとを話し合うしくみ「連絡調整会議」の充実に取り組み、様々な関係機関・団体の参加促進を図ります。また、小地域福祉活動計画の策定を推進します。

基本目標 Ⅲ

「住民、関係機関団体とのネットワークで 困りごとを話し合おう

~話し合いのしくみの充実~

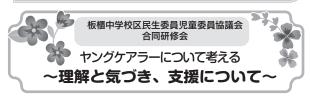
住民主体の助け合いのしくみづくりやボランティア・市民活動の充実を図るとともに、生活 困窮者自立支援事業や地域福祉権利擁護事業といった既存のしくみの充実も行います。また、活動のための財源づくりにも取り組みます。



自立相談支援員



地域支援 コーディネーター 奮闘記



到津校区発! 合同研修会

令和6年3月、「ヤングケアラーについて考える 〜理解と気づき、支援について〜」をテーマに、北 九州市立大学地域創生学群の寺田千栄子准教授を招 いての研修会が開催され、会場となったこども文化 会館児童劇場には、民生委員・児童委員をはじめ、 校区社会福祉協議会の会長や福祉協力員、学童クラ ブの指導員など76名もの参加者の熱気であふれま した。

ヤングケアラーについて考える

この研修会は、市民講演会で寺田先生の講話を聴いた到津地区の主任児童委員が「ヤングケアラーのことを地域のみんなにももっと知ってほしい!」と声を上げたことを発端に、相談を受けた地域支援コーディネーターが「せっかくなら到津地区だけではもったいない。近隣の中学校区の民児協にも声をかけよう!」と提案したことで実現に至りました。準備期間は2か月足らずしかありませんでしたが、到津、井堀、中井、北小倉地区の民児協が協働し、企画からご案内、当日の運営・進行などを分担しました。



誰もが住みやすい 地域を目指して



参加者からは、「恵まれた環境があふれる中、その自由を味わえない子どもがいることには涙が出る思いだ」、「近所のおせっかいおばちゃん役も必要」、「聴く、寄り添う、繋がる、繋げることが大切」、「問題意識を持ち続けることの重要性を知った」などの感想があり、ヤングケアラーの問題について学び、考えるよい機会になりました。

繋がる・繋げる地域福祉活動

なにより素晴らしいのは、主任児童委員の『気づき』から、民児協や社協といった組織の壁や地域の垣根を越えて、みんなで力を合わせて開催したことでより多くの人と地域に共通の理解が深まったこと、そしてこの成功体験を活かし、来年度からは各校区輪番での共同開催の機運が高まったことです。まさに繋がる・繋げる地域福祉活動に広がりをみせています。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。 次回も楽しみに期待しています!



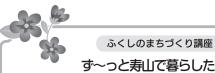






病院情報 北九州市小倉北区 **医療法人真鶴会小倉第一病院** (093)582-7730





ず~っと寿山で暮らしたい!

~住み慣れた地域でつくる心ゆたかな暮らし

更なる活動充実を目指して

寿山校区は、もともと地域福祉活動等が活発な校 区ですが、長引くコロナ禍などで、活動者が集まっ ての連絡調整会議や研修会がなかなかできず、活動 者自身の高齢化も進む中、地域課題の共有やモチ ベーションの維持等が課題となっていました。

そこで、地域の福祉活動を進めるため、地域の困 りごとや現状を共有したり、新たな人材を見つけ出 すことを目的に校区社協と市・区社協が協力して実 施する「ふくしのまちづくり講座」の開催を提案し ました。

こんな寿山になったらいいなぁ

『ず~っと寿山で暮らしたい!~住み慣れた地域 でつくる心ゆたかな暮らし~』と題して、北九州市 立大学地域創生学群の末永和也先生を講師に迎え、 2日間にわたり行われた研修会では、あらためて地 域で助け合うことの大切さを学ぶとともに、「みん





なが安心して暮らしていくためには、こんな寿山に なったらいいな | を校区社協役員、福祉協力員、民 生委員、町内会長等みんなで考えました。

熱気溢れるグループワーク

第1回目の『支え合いのまちづくりのために必要 なことは何か』では、地域の現状と今後の課題につ いての講話があり、地域住民が支え手と受け手に分 かれるのではなく、それぞれが役割を持ち支え合う 「地域共生社会の実現」について学びました。

第2回目の『支え合いのまちづくりについて考え る』では、地域課題とその解決方法について、ワー クショップを行いました。地域を越えてのグループ ワークは好評で、参加者からは「沢山の課題が見つ かってよかった。|「みんなで困りごとを共有できた ことは今後の活動に役立つ」との声が上がり、こう した取り組みの継続を希望する声が多く出ました。

地域福祉活動の再生に動きはじめた寿山校区。支 え合いの輪が益々広がるように応援していきます。





今日をよりよく生きるために。みんなの笑顔が増えていく介護を目指します。

社会福祉法人

グループホーム花みす

小倉北区篠崎1-9-5

TEL.093-592-3561 FAX.093-592-3562

【原則20~64歳対象】

をご存知でしょうか?



障害年金とは、病気やケガで**日常生活**や**就労**に支障が生じている方に 支給される公的な年金です。ほとんどの病気やケガが対象です。

☎093-533-8200(8:00~21:00

社労士による無料相談受付中です ❷ 北九州 障害年金サポートネット 運営:平井社会保険労務士事務所 北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階A号





共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。

たかご客付のご紹介



(株)セブンイレブン - ジャパンより、地域福祉 の推進等に役立ててほしいと、食料品や飲料を はじめ、洗剤などの日用品や文房具などの物品 をご寄贈いただきました。

この善意の品は、生活に困難を抱えた世帯や 子ども食堂などに贈呈されました。

一部は、今町校区社会福祉協議会を通じて、 日本語学校「北九州日本文化学院」に贈呈され ました。地域の様々な団体や施設との協働を進 める今町校区では、同学院との交流を深めてお り、物価高騰の続く日本での生活を応援しよう と、今回の支援につながりました。



赤い羽根共同募金・歳末 助け合い募金へのご協力 ありがとうございました



小倉北区では昨年度、自治会を通じた戸別募金 や学校・職域での募金、イベント募金等により、 赤い羽根共同募金6,609,752円、歳末助け合い募金 4,026,747円が集まりました。皆様のご厚意に深謝申 し上げます。

この浄財は、福岡県共同募金会を通じて各種社会 福祉団体等に配分され、令和6年度の様々な地域福 祉活動事業推進のために使われるほか、一部は、被 災地のボランティア支援活動や県域での障害者・児 童支援活動などにも役立てられます。

小倉北区社会福祉協議会でもこの配分金を活用 し、ふれあいネットワーク活動をはじめとした支え 合いのまちづくりを進めてまいります。

ふれあいネットワーク活動に 5.073.917円 児童青少年の健全育成活動に 700,000円 ・障害者等の支援活動団体に 250,000円 ・地域福祉活動団体への助成に 525,000円 ・自治会活動等の振興のために 610,000円 ・福祉情報の広報、啓発活動に 1,961,000円



配分金の使途、事業計画の詳細は共同募金会の ホームページに掲載されています。

あなたの困りごと 一緒に考えます

人間関係が うまくいかなくて 退職した



家賃が 払えない

借金がある



お金のやりくりが できない

いのちをつなぐネットワークコーナーでは、仕事や生活 に関する様々な相談に応じ、関係機関と連携しながら、 それぞれの状況に寄り添った支援をしています。 ひとりで抱えこまずに、まずは話してみませんか?

いのちをつなぐ ネットワークコーナー

相談時間 8:30~17:15 (土日祝日・年末年始を除く)

093 (582) 3478

令和6年3月31日まで受付が15年12月23日から とざ

ハープアリリア 倉北区プルタブ収集ボランティ 九州観光コンベンション

令和6年3月31日まで受付4和5年12月23日から

あ福り社 とうご で寄せれ まし た

